



7/18(月) 泉州市のお友達と国際交流 ～22(金) ようこそ浦添市へ

平成28年度中国泉州市・浦添市小中学生交流事業が、7月18日(月)から22日(金)までの日程で行われました。この事業は、浦添市と中国泉州市が締結した友好交流を青少年まで拡大したもので、小中学生の交流は今年で13回目になります。時代を担う両市の小中学生の訪問・交流を推進することにより、相互の文化に対する理解と友好の絆を深めることを目的に行われています。

今年度は泉州市から小学生の代表16人、職員6人の総勢22人が浦添市を訪問し、市内の児童生徒との様々な体験・交流会が行われました。



8/9(火) 絆のある学校をつくろう

神森中学校に市内各中学校の生徒会員が集まり、生徒会フォーラムが行われました。レク交流や活動報告、いじめ問題解決への話し合いが行われ、特にレク交流では学生が笑顔で和気あいあいと楽しみながら交流を深めました。

活動報告では、新聞や劇、プロジェクターを使ったプレゼンがされ、最後の話し合いではLINEやSNSなどによるいじめの話題があがり、生徒会としてどういう対応をしていくべきか、真剣に議論していました。



8/6(土) 異文化交流サロン・ゆしどうふ作り

仲間自治会協力のもと、うらそえぐすく児童館で、ゆしどうふ作りが行われました。当日はJICAの研修員たちや子どもたちも多く参加し、石臼を使って大豆からゆしどうふを作る体験をして交流を深めました。出来上がったゆしどうふは大好評で、鍋3つ全て完食。

エジプトのアテフさん(JICA)からは、「石臼の体験は思っていたよりも簡単で、とても楽しかったです。ゆしどうふもとてもおいしかったです」と笑顔で語ってくれました。また、参加者の饒波かりんさんと山城早貴さんは「アフリカのドクターと将来についてのお話ができ、もっと英語を勉強したいと思った」と話してくれました。



8/11(木) 内間康平選手リオ五輪から帰る

自転車個人ロードレース日本代表としてリオ五輪に初出場した市大平出身の内間康平選手。

夢舞台でのレースを終え、8月11日(木) 沖縄に帰ってきました。那覇空港の到着ロビーでは内間選手を出迎えるため、大勢の人たちが集まりました。

到着口に内間選手の姿が見えると割れんばかりの拍手と歓声が起こり、内間選手を迎えました。

到着後行われたセレモニーの中で内間選手は、「これまでのレース経験を生かして、自分の中では今年一番のコンディションで走ることができたと思っています。たくさんの応援ありがとうございました」とオリンピックに出場しての感想と応援してくれた皆さんに感謝の気持ちを伝えました。



8/13(土) 子どもたちによる子どものための祭り!

中央公民館分館で「分館子どもフェスタ」が開催されました。各ブースではバザーや紙芝居、切り絵などが行われ、当日は多くの親子連れが参加しました。

舞台では各団体の創作エイサーやキッズダンスの披露。バンド演奏ではSOTS(ソッツ)も登場。その中でも特に盛り上がりを見せたのが(猫の)むぎちゃんショーで、持ち前の木琴技術やユニークなネタで会場を沸かせ、フェスタに来ていた子どもたちは、「とてもおもしろい!」と満面の笑顔で楽しんでいました。



7/29(金) 宮崎県で少年野球チームが戦って ～31(日) きました。

「第4回東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会」が宮崎県西都市で開催されました。この大会は、ヤクルト球団に縁のある自治体4市が集まり、軟式野球や地域の文化観光体験を通して、スポーツ振興や、健全育成に寄与する事を目的としています。結果は優勝に及ばなかったものの、子どもたちは真剣に全カプレーで戦いました。

野球以外にも、西都牛や新鮮野菜等特産品を用いたバーベキュー、農家民泊体験、西都原考古博物館では、「まがたま制作」を行うなど、思い出に残る充実の3日間となりました。



7/19(火) 前田トンネル(仮)工事現場見学会

浦添市では現在、前田小学校の側でトンネル工事を行っています。7月19日(火)に工事現場見学会を行い、前田小学校、前田自治会、グリーンハイツ自治会から多くの人が参加しました。

見学会ではトンネルの中に入って実際に機械を動かしてトンネルを掘る状況や、様々な特殊重機を使うため、その重機が実際に動く状況を見学しました。

子どもたちからは普段見る事ができない工事現場である事から、「毎日でも見に来たい」と楽しそうな声が上がりました。

話題がいっぱい!
なかゆくい